

阿賀浦コミ協だより

平成20年7月30日
広報 第3号
阿賀浦コミュニティ協議会

ご挨拶

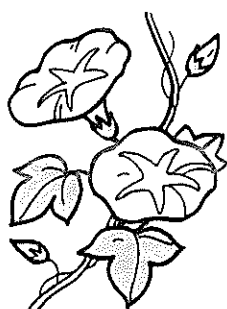
会長 藤田 勇

暑中お見舞い申し上げます。厳しい暑さを迎え、皆様方のご健康をお祈り申し上げます。

阿賀浦コミュニティ協議会も、お陰さまで皆様方のご協力のもと事業促進をさせて頂き、あらためてお礼申し上げます。また地域住民の方々が語り合う場の館も確保でき、誰もが気軽に利用していただけるものと期待しております。

つい先日もその館で皆様ご存じの裁判員制度導入まであと一年を切る中、制度の在り方について、司法当局から来ていただいて説明会を開催いたしました。短い時間ではありましたが、裁判員制度とは何か…国民から選ばれた裁判員が裁判官とともに立ち会い被告人が有罪か無罪か、有罪の場合どのような刑にするかを判断するのであって、一般の人が人を裁くということがなかなか理解しにくいことが感じられました。今後はさらに皆様方のご意見をお聞きしながら、ご要望があれば再度説明会を開催したいと考えております。

次に開催いたしました秋葉区行政側との懇談会につきましては、秋葉区自治協議会に諮られたものを主に主題として懇談事項としたもので、第一議題として秋葉区のビジョン（将来への見通し）まちづくり計画について、自然環境の保全と活用、歴史と個性を活かす、便利で快適なまち、可能性づくり等のまちづくりの検討説明がなされました。



第二議題では、平成20年度秋葉区の主要事業については、特色ある区づくり事業、区政振興費（既存事業）、地域コミュニティ育成事業、その他34項目にわたる合併建設事業や道水路事業の説明をして質疑に入り、質疑事項2～3点程で終了いたしました。

今後も大いに皆様のご意見ご参加をいただきまして、相互協力の場としてのコミュニティづくりにお力をお借りしたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

つながり、その要の場としての

事務局長 渡辺 紀夫

今年度の阿賀浦コミ協の総会の席上、来賓の松井区長さんから次のようなお話がありました。

『コミュニティで大切なことは、阿賀浦コミ協で言えば、五つの町内の皆さんがつながることです。それには、お世話する方々が、コミ協の要（かなめ）となって尽力下さることだと思います。幸い当コミ協には、かつての阿賀浦分館の活動実績があります。それらを踏まえて、ますます発展されることを期待しております。』と。

阿賀浦地区の住民の皆さんのつながり それを導いていく要（かなめ）、当コミ協でその大役を担っているのは、運営委員会『（藤田会長・各自治会長町内会長の役員会）と部会の各部長』そして各部の部員の方々です。

総会の提案事項や運営などについて、四月から地域学園二階に開設された事務局の部屋では、頻りに役員会や運営委員会が開かれ、総会が終了するや、厚生福祉部を皮切りに、各部は部員の方々を交え、住民の皆さんに喜んでもらえるような年間計画の作成に尽力され始めております

こんな様子を見ても、阿賀浦コミ協の要は盤石で頼もしくあると嬉しく思います。

部屋に藤田会長のお世話で冷蔵庫を設置しました。ご利用ください。

平成20年度の主な行事予定

《 多数の皆さんの参加をお待ちしています 》



平成20年度の定期総会が、去る6月14日に地域学園で開催され、70名近くのご出席をいただきありがとうございました。

平成19年度の決算の収入の部では、各地域のゴミステーションに出していただいた資源ゴミが、市からの助成金で〔20万7千円〕という大変大きな収入となりました。新年度の活動費としても、有効に運用させていただきたいと思っておりますので、今後ともゴミの分別搬入をよろしくお願いいたします。

阿賀浦コミ協のいろいろな行事を通して、地域の皆さんのコミュニケーションの輪が広がってほしいと思います。

文化事業部

★ 史跡めぐり

○日程、行先等は後日決定

★ 芸能祭

○日 時 10月19日(日) 12時～

○会 場 阿賀小体育館

○懇親会 地域学園 17時～

厚生福祉部

★ ゲートボール大会

○日 時 6月29日(日) 9時～

○会 場 七日町ゲートボール場

★ ソフトボール大会

○日 時 9月中旬～下旬

○会 場 第五中学校

教育社会部

★ 指人形劇

○日 時 12月初旬予定

○演 出 笹神村 渡辺住職を予定

★ 阿賀地区青少年健全育成会 への協力

○10月初旬予定の『ドミノ大会』
への協力



【6月29日のゲートボール大会の様様】

競技結果は、優勝・新金沢町、準優勝・中新田、三位・東金沢。

懇親会は、中新田公民館で和気あいあいのうち開催されました。

坂口安吾を偲ぶ

平成20年6月14日開催の〔平成20年度阿賀浦コミュニティ協議会定期総会〕において、第3号議案「事業実施計画」の重点活動の項目の一つとして、「坂口安吾の認識を深める」ことが決議されました。

そこで、「安吾」のプロフィールの一部なりとも綴ってみたいと思います。

〔 どんな人？ 〕

★本名は「柄五（へいご）」で、1906年（明治39年）新潟市西大畑町で父・仁一郎（衆議院議員）、母・アサの五男（13人兄弟の12番目）として生まれる。（本籍は旧新津市大字大安寺）

★東洋大学印度哲学倫理学科卒業後、小説家、エッセイストとして活躍。純文学のみならず、歴史小説、推理小説、文芸エッセイまで幅広く活躍した。

★1947年梶三千代と結婚（安吾41歳）、1953年長男・綱男（一人息子で現在写真家として活動中）が誕生。

★1955年（昭和30年）脳卒中のため桐生市の自宅にて死亡。享年49歳。坂口家父祖の地である旧新津市大字大安寺の坂口家の墓所に眠る。

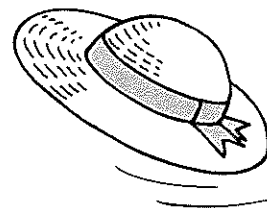
〔 主な作品 〕

—小説—

- 吹雪物語 ●白痴 ●桜の森の満開の下 ●信長 ●二流の人
- 不連続殺人事件 ●街はふるさと ●夜長姫と耳男

—エッセイ—

- 墮落論 ●続墮落論 ●日本文化私観 ●文学のふるさと
- 教祖の文学 ●安吾巷談



〔 新津所在の安吾関係記念碑 〕

- 新津駅前交番脇

碑文 「あちらこちら命がけ」

- 新津図書館敷地内

碑文 「桜の森の満開の下」

*漢詩人でもあった、安吾の父「坂口五峰（仁一郎）」の漢詩の碑もあります

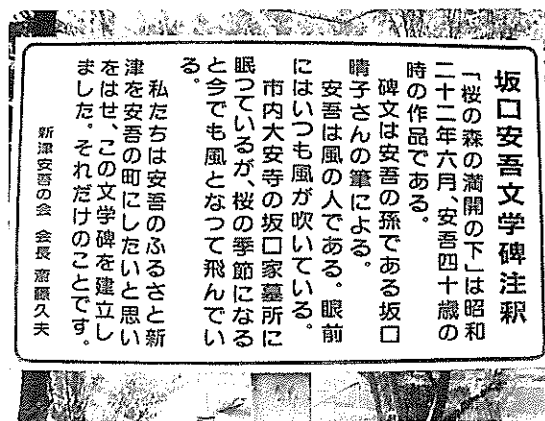
- 大安寺集落センター脇（檀一雄の碑）

碑文 「亡友の泳ぎし跡か川広し」

*安吾を偲んで、大安寺にて檀一雄が一句したためたもの



坂口家の墓所



新津図書館記念碑注釈

快挙! 阿賀小少年野球クラブ 学童軟式野球選手権大会出場

今年、第28回高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会・秋葉区の予選会が好天に恵まれた5月3日～4日金屋・新津の各球場で行われ、並みいる強豪を撃破し優勝いたしました。

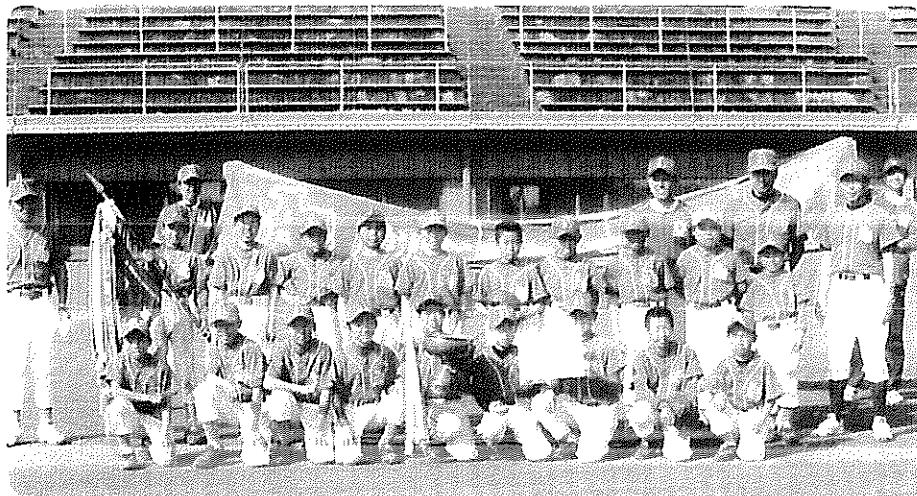
穂満監督率いる我がチームは、チーム結成以来25年で秋葉区の頂点に立ち、悲願達成されました。これもひとえに子供達が毎日練習した結果であると同時に、これをささえた保護者はじめ、地域の皆さんが丸となった応援のたまものと感謝致しております。

その後、新潟市の予選会に出場、準優勝し、6月14日新潟市小針球場で行われた、新潟県大会へと駒を進め、惜しくも敗れましたが新潟県野球連盟から出場資格を得て、第1回GasOneカップ学童軟式野球選手権大会に、新潟県代表として出場が決まりました。

大会は、参加16チームで来る8月30、31日埼玉県営大宮公園野球場で行われます。阿賀小少年野球クラブの健闘を祈ります。

7月2日午後阿賀小少年野球クラブ員全員と穂満監督、保護者多数で松井秋葉区長を表敬訪問し、大会出場を報告松井区長から激励をうけ、選手達は感激し誓いを新たに帰ってきました。

がんばれ!
阿賀小少年野球クラブ



第24回 若葉カップ小学生全国大会に出場

(バトミントンの部)

我が阿賀小学校4年生の男子生徒が「小須戸スポーツ少年団」男子チームに所属し、8月1日から京都府で行われる全国大会に出場することになりました。

健闘
祈る!

編集後記

「阿賀浦コミ協だより」
第三号をお届けします。

今年度も昨年度と同様に、
七月と一月の二回発行する
予定です。

昨年度の第一号と第二号
で中心となって編集にあた
られた、総務部長の昆昭
市殿が去る五月十五日に
急逝されました。謹んでご
冥福をお祈り申し上げます。

そのような経緯から、残
された我々で編集にあたり
ましたが、力不足の感がぬ
ぐえません。

何卒、ご笑読ください。

総務広報部編集

スタッフ一同

